

フラワーアレンジメント技術習得の為の研修報告

川島真由美*

鳥取大学技術部 生物生産管理部門 生物生産管理分野

1. 初めに

生物生産管理分野では週一回各班に分かれて学生実習をしているが、花卉班の実習で花の播種～収穫までではなく最終的な花の利用方法であるフラワーアレンジメントまでを通して出来るようにすれば、さらに充実した実習になるので新たに取り組めたらと話が出た。しかしフラワーアレンジメントの事は全く知らず教えられる状態ではなかったため資格としてNDFフラワーアレンジメント3級の取得を目標にして研修を開始した。

2. 資格の内容

まずは資格の取得が出来る教室を探し、体験することにした。教室の講師から詳しい話を聞いた所、フラワーアレンジメントをしたことのない人が取得出来るまでには14～16か月の受講が取得期間の目安との話だったので8月から受講開始～翌年9、10月の受験を目標とした。

また、資格の試験内容はフラワーデザインの技術と知識の基礎を学ぶため三種類のアレンジ方法として

- ・トライアングュラー（二等辺三角形の中に植物を配置・分配できるようにする）
- ・共同形態（自然な感じの効果を出す・グループ分けをマスターする）
- ・平行ー装飾的（装飾的を理解する、平行配置を理解する）

花束とブーケとして

- ・丸い花束（花束の制作に必要なスパイラルテクニックをマスターする）
- ・モダンー装飾的ブーケ（ブーケの基本を理解する）

以上5種類の技術習得が必要とのことであった。



図1 体験時に作成した
写真

3. 受講内容

最初に上記の 5 個の技術の内トライアングュラーが一番難しいのでこれが出来れば他の 4 つの取得が楽になるとの話で最初にこの技術を練習した。50 cm の二等辺三角形内に花をアレンジする技術を学んだ。



図 2 トライアングュラー受講時に作成した写真



図 3 トライアングュラー受講時に作成した写真

2 番目に花束のテクニックを受講した。花を半円形に、透明な花瓶越しに見える茎もキレイなスパイラルになるよう手で花束を組んでいく技術を学んだ。



図 4 丸い花束受講時に作成した写真



図 5 丸い花束受講時に作成した写真

3 番目に平行—装飾的なアレンジの仕方を受講した。すべての花が花器の枠外に出ないようにする事、交差しないよう真っすぐにすっきり茎を見せながらアレンジをする技術を学んだ。



図 6 平行—装飾的受講時に作成した写真



図 7 平行—装飾的受講時に作成した写真

4. 練習

農学部の受付カウンターにアレンジメントを置かせてもらえる話をいただき、11月から受講とは別に練習として月一回のペースで図8, 9, 10を作成し置かせてもらっている。



図 8



図 9



図 10

平行のアレンジで一番上に使っているストックの花は花卉班実習で栽培しているものを使用している、ストックは12月～2月に収穫する栽培計画を立てており来年度の12月には資格が取得できている予定の時期であり、ストックを使用し、目的である花卉班でフラワーアレンジメントを教える実習をすることができるのではと予定をしている。

5. まとめ

受講内容は、アレンジメントの資格取得を目指す方から趣味で通われている方まで目的はバラバラだが1クラス2,3人ずつの教室でそれぞれの今日活ける花を渡してもらい、当日の活け方を個人ごとに講師から説明を受け、約一時間位をかけて助言や修正を受けながらフラワーアレンジメントを作るのが良かった。

8月から受講を開始し、今年度2月時点で3つの技術を習得してきた、まだ受講途中ではあるが来年度9,10月受験のためにあと残り7回の受講で2つ(アレンジ,共同形態・ブーケ,装飾的ブーケ)の技術も習得し、合格できるよう受講していく。

* E-mail: mkawashima@tottori-u.ac.jp